

剰余金8億円超

昨年度、養殖高値で好決算



あいさつする丹野一雄会長

昨年度は、事業利益が5億5700万円、経常利益が8億1100万円、剰余金8億3500万円（計画対比6億1400万円の上振れ）を計上。自己資本比率は28・81%となり、前年度末より2・35ポイント上昇した。

当組合の通常総代会

当組合は6月30日、本年度通常総代会を石巻市の河北総合センターで開催した。昨年度事業報告、本年度事業計画などの議案をいずれも原案通り可決、決定。昨年度は養殖ホタテ、ワカメの高値などで事業利益が膨らみ、8億円超の剰余金を計上した。これを受け、本年度から5カ年の経営改善計画期間中に早期に「震災特別優先出資の返済も視野に入ってきた」とした。（2面に「本年度事業計画」小野理事長に聞く）



河北総合センターでの平成28年度通常総代会

年度に引き続き業務・加

工用の原料不足で好値、ワカメは三陸産の在庫払底と全国的な減産による物不足で過去に例をみない価格で推移。カキは、記録的高値となった前年度には及ばないものの、例年を大幅に上回る水準となった。

購入事業も、国の復興事業を活用した資材類の安定供給などで取扱高が計画超え。信用事業でも、さまざまな貯蓄推進運動の展開、地方公共団体からの公的貯金の受け

入れなど積極的な事業推進で運用収益が増加した。福島原発事故の環境が続く」との認識を示した。福島原発事故の風評被害と資材価格の高止まりが続くと懸念され、沿岸地区を中心に生活基盤の復旧もこれからとなるからだ。

そうした状況下で、基本方針として「本県漁業の持続可能な発展を図るため、被災組合員の漁業継続や漁業者所得の安定・向上が不可欠であり、これらの支援に着実に取り組むこと」と、当組合の着実な経営改善を図ること」を挙げた。

優先出資の早期返済に力

丹野一雄経営管理委員会会長のあいさつ 平成27年度の組合収支は、計画を大きく上回る8億円

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況 (27年度事業報告から。単位:千円)

区分	項目	24年度	25年度	26年度	27年度(当期)
財務	事業利益	431,701	511,749	940,036	556,722
	経常利益	558,453	657,820	1,121,887	811,000
	当期剰余金	637,706	785,933	1,421,218	834,958
	総資産	111,474,698	113,218,974	108,730,833	109,880,892
	純資産	8,693,115	9,425,269	10,762,365	11,447,630
信用事業	単体自己資本比率	20.92%	22.76%	26.46%	28.81%
	貯金	93,829,091	94,146,996	91,021,051	92,721,165
	預け金	77,324,833	76,286,699	77,310,069	80,440,457
共済事業	貸出金	24,101,674	26,001,556	19,758,126	16,854,709
	長期共済保有高	83,587,340	79,989,000	76,376,202	72,957,588
購買事業	短期共済契約高	34,455,900	36,409,030	38,175,120	43,468,430
	石油類供給高	4,773,222	5,245,339	3,861,196	2,963,584
販売事業	資材類供給高	14,110,761	8,269,389	6,834,497	6,304,287
	受託販売取扱高	17,225,107	21,464,205	28,757,996	30,413,609
	買取販売高	1,707,483	2,332,638	2,082,849	2,242,281

上することができた。これもひとえに組合員の皆さまのご尽力、ご協力のたまものであり、心より感謝申し上げます。今後は毀損(きそん)率の解消に伴い組合脱退者の増加が見込まれることから、経営基盤の強化のため出資金対策が必要となる。その第一弾として、正組合員の出資金平均化を目標に5カ年の増資協力をお願いした。

南三陸町 高度衛生管理型市場が稼働 安全で安心、高鮮度

当組合志津川支所(佐々木憲雄運営委員長)が卸売業務を担う南三陸町地方卸売市場が6月上旬、竣工、供用開始となった。閉鎖式の高度衛生管理型で、水揚げ魚の安全で安心な流通を推進、評価の高い鮮度のい



完成、供用開始した南三陸町地方卸売市場。下は活魚売場での活気ある競り



佐藤仁町長



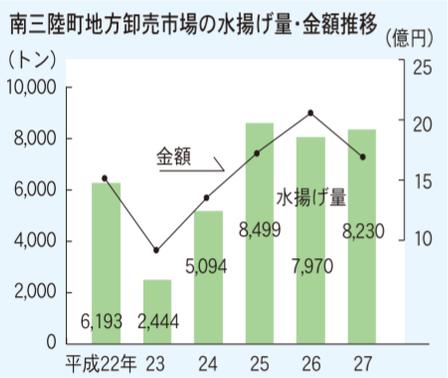
佐々木憲雄運営委員長

つその向上も図られる。水揚げ現場から加工も含めた水産物の高付加価値化と産地全体のブランド化をリードし、水産の復興加速と地域経済の発展にも貢献する拠点施設となる。

志津川漁港に面する同町旭ヶ浦の市場が東日本大震災の津波で壊滅したため、開設者の町が撤去して新設復旧。鉄筋コンクリートと鉄骨造一部2階建て、延べ床面積6435平方。総事業費は23億8200万円。復興交付金などを活用した。

衛生管理は国の基準で最高レベルの3。荷捌場は必要な時にだけ出入り口を開ける閉鎖型

当組合としては、早期に震災特別優先出資を返済し、健全で自立した組合運営の確立を目指し、引き続き組織経営改善検討委員会でも業務と経営の改善に向け検討を行う。組合員の皆さまもこうした状況と主旨をご理解の上、28年度においてもさらなるご協力をお願いしたい。



で、HACCPにも対応。人の出入りでは滅菌エリアで手洗いや長靴洗浄を徹底する。販売では魚の床への直置きを禁止。バットに入れた魚は段重ねしたパレットの上で置き、靴跡水を防ぐ。荷捌場内の冷蔵庫と活魚水槽、荷捌場と一体化した海側の岸壁下屋は、衛生と鮮度管理の両面で

効果を上げる。冷蔵庫は水で冷やせない水産物や藻類を保管するほか、販売まで時間を要する水揚げ魚を収容。活魚水槽は最新鋭で、魚から出る有害物質をバクテリアで分解し病原菌の増殖を抑制する。

本年度事業計画

小野理事長に聞く



分かりやすく説明する小野喜夫理事長

組合の通常総代会で決定した「本年度事業計画」から、①販売力強化②安定的事業運営基盤の維持・確保③「ワカメ残さ物処理事業」の3点について、小野喜夫理事長に、重要性も含め詳しく聞きました。

販売力強化で直販にも力

①宮城県産水産物のブランド力強化等を通じた直販の拡充および輸出等による販路拡大を主とした販売力強化

本年度からの5カ年計画で引き続き販売力強化を進める中で、直販も一生懸命やり、輸出にも目を向ける。そうした取り組みが、組合が直販で届ける

出資金剥落は増資で補填

②収支状況および組合員脱退の動向を踏まえた確かな出資金対策の実践による安定的事業運営基盤の維持・確保



昨年度は脱会組合員の出資金が1億2900万円にのぼった。計画では

「昨年、蒸しボヤは（ネット通販にて）少量ながらも香港に直接出荷をした。ギンザケは手を加えた活けの普及を進める中で、直販や輸出の取り組みを模索している。」

「宮城げんき市」が5月3日に仙台市の勾当台公園で開催され、大勢の家族連れなどでにぎわった。焼きほややほや汁などの販売に行列ができ、大型水槽による展示で成長から水揚げまでの流れも紹介。ほやに親しみ満喫する笑顔が目立った。

「宮城げんき市実行委員会（会長・小野喜夫当組合専務）が主催。県内産水産物のおいしさと安全性を広く発信する目的で平成26年から「げんき市」を県内外で開いており、今回は旬を迎えるほやの魅力アピールした。

ほやに親しみ満喫

仙台で「げんき市」大盛況

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

5



全国沿岸の漁業地区の前浜には共同漁業権が設定されています。この水域は、地元地区の漁民集団の縄張り。一般的にこの権利のもとで、入会集団たる漁民が暮らしているように自ら互いの利害調整をして規則を作成し、漁場利用に工夫を凝らしています。ただし、任意の集団には法的権利を与えるわけにはいかない。漁民らは法人格をもった漁協を設立し、行政庁への漁業権の手続きにおいて漁協の名を使用することになっています。漁協が漁業権の権利主体ではなく、漁業権の

管理者と呼ばれるゆえんはここにあり。養殖業を営むためにある特定区画漁業権の考え方も共同漁業権と同じです。多くの場合、一定の漁場の枠のなかで複数の漁民が入り会って養殖業を営んでいることもあって、この権利も入会集団の権利として漁協に免許されるようになっていきます。とはいえ、そもそも、多くは共同漁業権海域の中に特定区画漁業権の漁場の枠が設定されているので、漁協が特定区

養殖優先順位と企業参入

を営んでいることもあって、この権利も入会集団の権利として漁協に免許されるようになっていきます。とはいえ、そもそも、多くは共同漁業権海域の中に特定区画漁業権の漁場の枠が設定されているので、漁協が特定区

画漁業権の管理者になるのも当たり前のようになっています。他のケースとしては、漁村のなかで養殖業を営む経営体権の場合、漁協が権利の管理者にならない場合があります。行政庁が経営者に漁業権を直接免許する

以上は、権利者が地元の漁民になっていきます。他のケースとしては、漁村のなかで養殖業を営む経営体権の場合、漁協が権利の管理者にならない場合があります。行政庁が経営者に漁業権を直接免許する

外部からの企業参入を簡単に防ぐことができるのです。これを「優先順位」といいます。漁協が優先されるのか、と問います。しかし、漁村経済のことを考えれば、優先順位は理にかなっています。すでに地元漁民が入り会って集団で養殖業を営んでいるのならばそこから権利を奪うわけにもいきません。法人で営む場合でもより多くの地元の漁民が

外部からの企業参入は雇用を生むかもしれませんが経済的効果が域外に流出し、地元にはほぼ残らないということです。ただし、漁場に空きが

この間に石巻市から、29年度事業で残さ処理を支援する用意があるという話を頂戴した。地元行政の積極的な対応はありがたい。

組合としては、処理の実用化を事業として進めるか決定しているわけではなく、本年度に整理したい。ワカメの茎から実証実験したが、プラント設備はほや殻まではなんと対応できる。

外部からの企業参入を簡単に防ぐことができるのです。これを「優先順位」といいます。漁協が優先されるのか、と問います。しかし、漁村経済のことを考えれば、優先順位は理にかなっています。すでに地元漁民が入り会って集団で養殖業を営んでいるのならばそこから権利を奪うわけにもいきません。法人で営む場合でもより多くの地元の漁民が

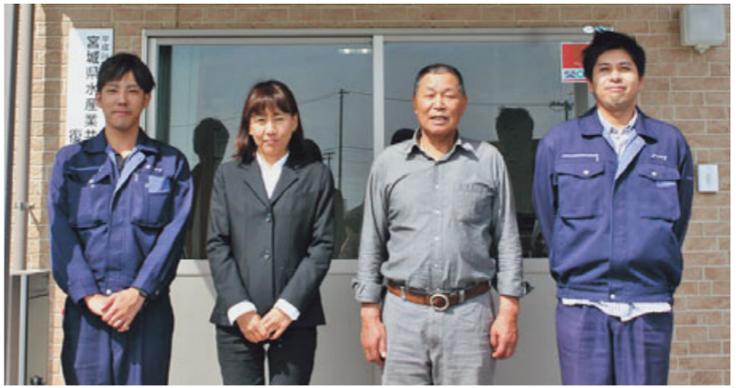
外部からの企業参入は雇用を生むかもしれませんが経済的効果が域外に流出し、地元にはほぼ残らないということです。ただし、漁場に空きが

この間に石巻市から、29年度事業で残さ処理を支援する用意があるという話を頂戴した。地元行政の積極的な対応はありがたい。

組合としては、処理の実用化を事業として進めるか決定しているわけではなく、本年度に整理したい。ワカメの茎から実証実験したが、プラント設備はほや殻まではなんと対応できる。

協同組合論 濱田 武士

カキ甘く大粒 川が恵み技術が育む



鳴瀬支所 組合員数 56 人、うち准 19 人。職員は 3 人。販売取扱いは平成 27 年度で約 6 億 4400 万円（税抜）。約半分がカキで 4 分の 1 がのり。残りは小型定置で獲れる鮮魚。カキは県内でもトップクラスの評価を得ていて、高値がついている。

人気、評価とも高く

鳴瀬のカキは、甘みがあり、加熱しても縮まらないと、三陸のカキのなかでも評価が高く、その 1 割ほどを出荷している。東京でも人気がある。それは恵まれた漁場環境と、手間を惜しまない養殖法のためにも他ならない。

松島湾と石巻湾を有し、鳴瀬川と旧北上川の水がぶつかるという好漁場。川は山からの栄養豊富な水を運び、海水をほどこよい塩分濃度に保つ。「川の恵み、山の恵みを受けて育ったカキだから、独特の甘みがあると いわれます」と仙石和男 運営委員長。

し、その後船で沖出し。それが刺激となって放卵を促進し、出荷時に卵残りのカキが混ざらないという。また、原盤を挟み込んだロープを 2 本つなぎにして、上のロープから揚げ、下のロープを浮上させるという 2 回採りを行っている。そうすることで下のものにも日光が十分に当たり、身入りが促進される。こうして、殻は決して大きくはないが、身がめいっばい入っているカキが出来上がる。

手間は惜しまず丁寧に育てた鳴瀬のカキは、県内や東京のカキ小屋でも人気がある。「このカキを食べて育ったので、私にとっては普通なのですが」と青砥久美支所長。「お客さまからの評判はともよ、リピーターの方はもちろん、人からいただいたがどうやって注文できるのかといったお問い合わせがかなりきています」という。お裾分けをもらった先からも注文がくるなど、客が客を呼び、口コミで人気を広がっている。

震災では、種カキ棚が全て流され、再開は無理なところはないかと思っていたところに、がれきの中に種カキを発見。使えるものを拾い集め、この年は共同で養殖を行って、秋に奇跡の出荷を果たした。生産者が一致団結し、ふんばった結果だった。

収入安定、後継者 90% 恵まれた漁場環境のため、のりも味のいいものが採れる。震災後は 5 人共同 1 経営体で生産しているが、品質の向上に力を入れ、平成 24 年、25 年と 2 年連続で皇室献上に選ばれている。震災前にはなかったことで、こちらもしっかりと結果を出している。

現在、カキ、のり、どちらの生産者にも、90% 後継者がいる。若い生産者が多いのもこの特長だ。仙石委員長は、「皆親の背中を見て育ってきた。質のいいものをつくる。質のいいものをつくる。質のいいものをつくる。」と問いかけがくるという。あさり観光が復活すれば地域も活気づく。かつての漁場が地盤沈下してしまっているため、行政の力も借りて漁場を造成し、なんとか復活させたいと願っている。

アサリで賑わいを

今後ぜひ復活させたいのは、あさり観光。平成 15 年まではかなり盛んで、1 シーズンに 2 万 5 千人もの潮干狩り客が訪れ、収益も大きかった。16 年にツメタガイの被害があつてからずっと休んでいたが、今でも「ことしもやらないんですか？」と問いかけがくるという。あさり観光が復活すれば地域も活気づく。かつての漁場が地盤沈下してしまっているため、行政の力も借りて漁場を造成し、なんとか復活させたいと願っている。

仙石和男 運営委員長

青砥久美 支所長

鳴瀬

支所を訪ねて

歌津

歌津支所 組合員数 875 人、うち准 488 人。職員は名足事務所の 8 人を合わせて 11 人。販売取扱いは平成 27 年度で約 14 億 800 万円（税込）。その約 7 割がワカメで、高品質高値で三陸ワカメをけん引している。そのほか磯根資源も豊富で漁種は幅広い。



豊かな磯根資源

アワビやウニ、海藻類などの磯根資源が豊富で、ワカメ、ホタテ、カキ、ホヤなどの養殖も盛ん。さらには漁船漁業と、バラエティに富んだ漁業を行っている。ワカメをはじめアワビ、マツモ、フノリ、ヒジキなど、多くが県内トップの生産



高橋一郎 運営委員長



千葉信哉 支所長

量を誇っている。内湾の静かな海と外洋の荒い海の両方をもち、海岸線は 37 キロと浅海漁業に適した磯が長く続いているなど、変化に富みかつ恵まれた漁場をもつた。多種多様な海産物に恵まれている。この豊かな海の資源を守るため、昨年竣工した最新鋭の監視船「はまかせ」を独自

に持ち、昼夜、密漁に目を光らせるほか、放流事業にも余念がない。いわずと知れたワカメは、三陸ブランドの最先端をいき、入札時には常に注目を浴びる存在。ことし 1 月の低気圧で大きな被害は出たが、残ったものを一生懸命育ててなんとか生産した。

「最初は落胆しましたが、いつもシケにはあつているので、経験と知識をもって取り組みました」と高橋一郎運営委員長。主産地であり、モデルであるという自負を皆がもち、切磋琢磨して高品質を実現している。

迷いなく漁師に 「ここでは後継者が多く、若い連中がけっこういることも特色です」と千葉信哉支所長。親から子、子から孫へと順調に受け継がれ、震災後も、組合員の減少はごくわずか、それも高齢などの理由だったという。「この海から離れられないという漁師さんがほとんど。そのくらい恵まれた海です」と高橋委員長も目を細める。若い後継者たちは全員消防団員で、「地域を守り、地域に密着した本場の漁師だ」という。この海とともに生きていくことに迷いはなく「がんばる漁業」の力も借りずに復興を果たした。

まずはすぐに収入になるワカメをやろうと、震災後全浜ですぐに種つけ作業に取り掛かった。ポランテアからいただいた資材も、13 浜全部に配った。皆が落ち込んでいたときに海の作業をすることでも力が湧き上がり「できる」という意識ももたせられたという。ターゲットを切れたという。青年部や女性部をはじめ、部会の活動も活発で、前に進み続けている。

県内最後となった事務所再建も、今年度じゅうにはかなう予定。さらなる発展を見据える。アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

ワカメ高品質高値 漁師が離れぬ海

アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

アワビに力、地域貢献 今後の目標は、以前から組合独自に行っていた

●七ヶ浜町 七の市

日時 7月24日(日)9:00～11:00 (小雨決行)
会場 七ヶ浜町水産振興センター駐車場 (七ヶ浜町花洲浜字館下 75-11)
内容 水産物、野菜などの販売。当組合七ヶ浜支所が出店し、アワビやアサリ、朝獲れのヒラメ、カレイなどを販売。(鮮魚は天候により限定も)

●Reborn-Art Festival × ap bank fes 2016

日時 7月30日(土)、31日(日)9:00～22:00 (前夜祭 29日 16:00～21:30)
会場 石巻港雲雀野地区
内容 2017年に牡鹿半島を中心に計画されているフェスティバルのイベント。音楽を中心としながら地域の自然や人とのコラボレーションによる食・アート・ワークショップの開催。当組合はギンザケなどを調理販売する。
チケット 各プレイガイドで入場券等を販売中
<http://www.reborn-art-fes.jp/2016pre/>

●JA いしのまき産直市

日時 8月13日(土)9:00～11:00
会場 石巻西農業倉庫 (石巻市蛇田字新沼田 187)
内容 旬の水産物の試食・販売



ギンザケやホヤを完売した昨年のJA いしのまき産直市

行事予定